

番号	3
事業名	地域公共交通システム事業費
予算額（主な支出）	補正額：7,913 千円 内訳：①デマンド交通用車両の追加購入 3,080 千円、②デマンド交通用バス停の追加製作委託 4,186 千円、③飯南・飯高地区デマンド交通パンフレット印刷 369 千円 ほか ※R 8 債務負担行為 飯高地区コミュニティ交通等運行に係る契約（変更分）12,000 千円
特定財源	国庫補助金 地域公共交通確保維持改善事業費補助金 6,884 千円 県補助金 交通不便地域等移動手段確保総合対策補助金 513 千円
事業の概要	飯高地区デマンド交通「かはだ」を飯南地区～大石地区へエリア拡大を行い、令和 8 年 4 月 1 日より飯南・飯高地区デマンド交通として再編する。 <u>①デマンド交通用車両の追加購入</u> 地域内の狭い道路でも運行できる普通車を購入する。（7 人乗り 1 台） <u>②デマンド交通用バス停の追加製作委託</u> 現在運行中のコミュニティバス「ほほえみ」バス停の他、新たにごみ集積所や各種施設、地元要望箇所等にバス停を設置する。 <u>③飯南・飯高地区デマンド交通パンフレット印刷</u> 飯南・飯高の全世帯に新たに冊子型パンフレットを配布する。 ※飯高地区コミュニティ交通等運行に係る契約（変更分）（R8 債務負担行為）
事業の背景など	現在の飯南地区のコミュニティバス「ほほえみ」は、過疎地の交通手段として重要な役割を果たしている。しかし、毎年利用者の減少が続いているため、バスの在り方を検討するために、令和 6 年度に飯南地区の住民対象に交通アンケートを実施した。その結果、飯南地区では移動ニーズが飯高町宮前地区や大石地区方面に大きいことが分かった。この結果を地域住民で構成される飯南地区公共交通運行協議会で検証し、現在の「ほほえみ」バスを廃止し、飯高地区デマンド交通「かはだ」を飯南地区にもエリア拡大し、かつ大石地区への利用を可能にすることで、地域住民の買い物や通院などの生活移動手段を確保できるという再編案が整った。令和 7 年 6 月に開催された松阪市地域公共交通協議会において、再編案を提案し協議が整ったため、準備経費を要求する。
目的・効果など	現在の交通課題を解消し、地域住民の移動ニーズに対応するため、飯高地区デマンド交通「かはだ」を飯南地区と大石地区に拡大することで、飯南・飯高地域住民の買い物や通院などの生活移動手段を確保できる。
事業スケジュール	令和 7 年 6 月 松阪市地域公共交通協議会で再編について承認 令和 7 年 11 月 松阪市地域公共交通協議会で再編の詳細を確定 令和 7 年 11 月～12 月 事業者との各種調整 令和 8 年 1 月～3 月 地域住民への周知・PR 令和 8 年 4 月 新「飯南・飯高地区コミュニティ交通かはだ」運行開始
添付資料	なし
担当課	産業文化部 商工政策課 電話 53-4149